



市長 からの 手紙

84 香りのエチケット

昨年暮れ、市内の子育て世代のお母さんのグループから子どもの安全に関するいくつかの要望をいただきました。要望の中に、児童生徒の衣類に柔軟剤の使用を抑制するよう啓発して欲しいとの要望がありました。

最近、衣類の洗剤や柔軟剤に花の香りのする物が増えています。私自身は、年齢を重ねるとともに、匂い香りに関する嗅覚も相応に鈍化しているのであまり気にならないのですが、私の家族も周囲の人も、柔軟剤の強い香りを気にする人が多いように思います。

かつては私も、匂い香りにやや敏感でした。20年くらい前、ある団体の会議に出席した際、隣の方の香水の香りが強くて、とても気になったことがあります。

普通、同じ匂いや香りを嗅ぎ続けていると、

しばらくすると慣れて感じなくなってしまうことが多いのですが、この時は時間が経ってもいつまでも香りに慣れることができず、私自身代表として出席している手前、退席してしまうわけにもいかず、会議に集中することができませんでした。気分が悪くなるころまでは行きませんが、頭が重くなってしまい会場を出るまで気分が落ち込んでしまいました。

香水は自然の花や実などから作るものでしょうから化学物質というわけではないでしょうが、現在の芳香剤などは全部合成の化学物質のようです。人類は、この半世紀くらいにこれまで地上に存在しなかった化学物質を5,000種類以上生み出した、という新聞記事をだいぶ前に読んだ記憶があります。今まで存在しなかった多くの化学物質が、長期的には人の健康や人体にどのような影響を与えるのか分かっていないことが多いと思います。化学物質過敏症も、しばらく前から、話題に上がるようになっていきます。

良い香りでも強すぎると悪影響を隣人に与える場合があります。新たな思いやりの一つとして、配慮していきたいと思います。

川越市長 川合善明

くらしに身近な公共交通 ⑤

交通政策課 224-5519

■デマンド型交通の運行開始

最終回となる今回は、デマンド型交通について紹介します。市内の交通空白地域における移動を支援し、生活の利便性の向上を図るため、2月18日から霞ヶ関・霞ヶ関北・川鶴・名細・山田・本庁の一部の区域で、事前に予約して乗車する乗り合い方式によるデマンド型交通の運行を開始しました。

●利用する場合は登録が必要です

登録は随時受け付けています。登録方法について詳しくは、同課にお尋ねください。

●体験乗車した方に感想を聞きました

「乗降の際のステップや車いすに乗ったまま乗車できるリフトなど、車両の設備が整っていて、乗りやすいと感じた。さらに利用しやすくなるよう、利用者の目線に立った運営をしてほしい」と美代川幸雄さん（鯨井）。また、山口幸さん（寺山）は、「いろいろな人が使えるサービスが望ましい。使い方はだんだんと浸透していくと思う」と、それぞれの感想を話してくれました。

■デマンド型交通の今後

そのほかの区域については、来年度以降、段階的な導入を予定しています。開始時期等については今後、広報川越などでお知らせします。

公共交通は渋滞の解消などに効果がありますが、維持には皆さんの利用が欠かせません。自分ができることから、暮らしに公共交通を取り入れていきましょう。



車いす用スイングアームリフト スライドステップ



2月17日に行われた記念式典の様子